

薬物治療モニタリング研究会 第52回特別ゼミナールのご案内

この度、下記の要領にて特別ゼミを開催する運びとなりましたのでご案内申し上げます。

本特別ゼミナールは2コース同時開講・コース選択制となっており、2日間開講のTDMの基礎知識・対象疾患・対象薬を学ぶ基礎コース、初日全日開講の「薬剤師が薬物治療に積極的にかかわるうえでのTDMの役割」をテーマとする応用コースⅠ、2日目全日開講の「薬物治療の適正化のために薬物動態から薬効を予測する～PK/PDパラメータの理解とシミュレーションを可能にするハンズオンセミナー～」をテーマとする応用コースⅡを企画しました。

基礎コースは、「薬物動態学と薬力学の臨床応用；TDMの正しい理解のために（メディカル・サイエンス・インターナショナル）」の内容に加えて、対象疾患の基礎知識、発刊以降に得られた知見・コンセンサス、などを追加し、近刊予定「新訂ウィンターの臨床薬物動態学の基礎（仮題）（じほう）」の内容を踏まえて講義します。応用コースⅠは、PKパラメータの特徴づけや薬物治療の評価と計画立案方法について、症例を例示し演習します。応用コースⅡは、薬物動態から薬効を予測する方法を演習します。ご多用のこととは存じますがぜひご参加をご検討下さいますようお願いいたします。

特別ゼミナール概要

基礎コース 開催日：平成24年9月29日（土）～30日（日）

内容：TDMの基礎をなす薬物濃度測定法、薬物動態学（PK）、薬力学（PD）は、日々進歩しています。基礎コースは、TDMの実施に必要な基礎知識を修得することおよび臨床での各領域のTDM実施ポイントを整理することを目的として開講します。

到達目標：1) TDMの実施に必要な基礎知識を説明できる。2) 喘息治療管理、臓器移植、てんかん治療および感染症治療におけるTDM実施のポイントを説明できる。

応用コースⅠ 開催日：平成24年9月29日（土）

テーマ 「薬剤師が薬物治療に積極的にかかわるうえでのTDMの役割」

内容：薬剤師には、疾患に対する薬物治療の位置づけを理解したうえで、治療薬の選択および薬物動態学的特徴を踏まえた投与量評価を行い、個々の患者の最適な薬物投与計画を立案することが求められています。本コースではPKパラメータの特徴づけやTDMを含む薬物治療の評価と計画立案方法について、症例を例示し演習します。

到達目標：薬物治療の評価・立案方法を理解したうえで、薬物毎にPKパラメータの特徴付けを行い、TDMの活用を含めた治療の個別化に応用できる。

応用コースⅡ 開催日：平成24年9月30日（日）

テーマ 「薬物治療の適正化のために薬物動態から薬効を予測する～PK/PDパラメータの理解とシミュレーションを可能にするハンズオンセミナー～」

内容：参加者各自のノートPCを持参していただき、薬物治療の適正化のための薬物動態から薬効を予測する方法を演習します。エクセルのプログラムさえあれば、各自のPCでシミュレーションを可能にするところまで演習します。抗菌剤のPK/PDパラメータについてMICとの関係を実際に計算演習します。

※受講者は、日本薬剤師研修センター認定シール6単位（1日参加は4単位）を取得できます。

特別ゼミナール募集要項

定員：基礎コース（両日とも）各100名（先着順）
応用コース（Ⅰ、Ⅱとも）各50名（先着順）

受講料：

	一般会員	学生会員	一般非会員	学生非会員
1日コース	7,000円	3,500円	14,000円	7,000円
2日間コース	10,000円	5,000円	20,000円	10,000円

受講申し込み方法：

研究会ホームページ内の「特別ゼミナール受講申込」ページより、必要事項を入力して申込んでください。申込が確認され次第、事務局より受講申込の確認および受講料（同時入会の場合は年会費）の振込先をお知らせするメールをお送りします。

受講料の振込が確認され次第、受講申込の最終確認として振込確認メールを差し上げ、申込完了となります。（*不明な点がありましたら、ホームページ問合せページからご質問ください）

研究会ホームページ [URL : http://www.rgtdm.org/](http://www.rgtdm.org/)

申し込み締め切り：

平成24年9月25日（火）（ただし定員となり次第締め切らせていただきます）

問合せ・連絡先：

薬物治療モニタリン研究会ホームページ内の「問合せページ」からお願いします。